

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-181652
(43)Date of publication of application : 30.06.2000

(51)Int.CI.

G06F 3/12

(21)Application number : 10-357268
(22)Date of filing : 16.12.1998

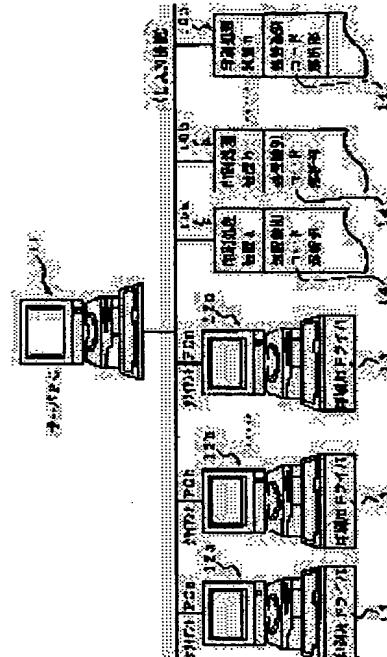
(71)Applicant : NEC CORP
(72)Inventor : SETO TAKAYUKI

(54) PRINT PROCESSOR

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent misprinting due to an abnormal print editing processing by analyzing print data which is sent out of an information processor and received and discarding the print data when the device identification code is different.

SOLUTION: Print data generated by a print driver 13 are sent from client personal computer(PC) 12a to 12n to print processors 10a to 10n, which receive the print data and analyze the print data by operation identification code analysis parts 14. Those print processors 10a to 10n edit and print received device identification codes when the device identification codes included in the received print data match the device identification code set to the print processors 10a to 10n themselves. When a received device identification code and the device identification code of a processor do not match each other, an editing process for discarding all of one JOB of the received print data is performed and no printing processing is performed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 18.03.1999

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 10.09.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-181652

(P2000-181652A)

(43)公開日 平成12年6月30日 (2000.6.30)

(51)Int.Cl.⁷

G 0 6 F 3/12

識別記号

F I

G 0 6 F 3/12

マーク(参考)

D 5 B 0 2 1

審査請求 有 請求項の数6 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願平10-357268

(22)出願日 平成10年12月16日 (1998.12.16)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 濑戸 孝之

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株
式会社内

(74)代理人 100086645

弁理士 岩佐 義幸

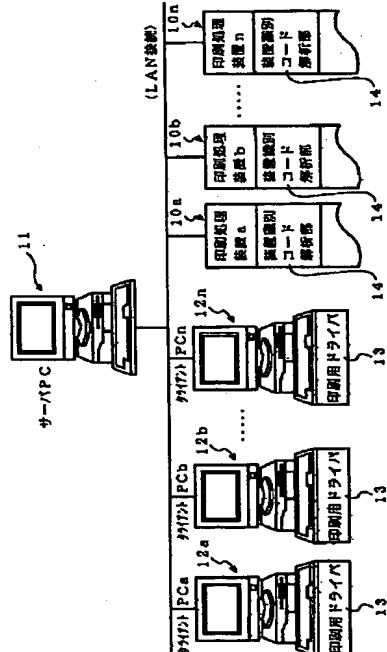
Fターム(参考) 5B021 AA01 BB04 CC05 EE05 LL01
NN06

(54)【発明の名称】 印刷処理装置

(57)【要約】

【課題】 異常な印刷処理による誤印刷が実施されるのを防止することができる印刷処理装置を提供する。

【解決手段】 クライアントPC12に接続された印刷処理装置において、クライアントPC12から送り出されて受信した印刷データ15を解析し、装置識別コードが一致しない場合は印刷データ15を破棄する装置識別コード解析部14を有する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】情報処理装置に接続された印刷処理装置において、

前記情報処理装置から送り出されて受信した印刷データを解析し、装置識別コードが一致しない場合は前記印刷データを破棄する装置識別手段を有することを特徴とする印刷処理装置。

【請求項2】前記装置識別手段は、前記装置識別コードが一致した場合、前記印刷データを編集処理して印刷を実行することを特徴とする請求項1に記載の印刷処理装置。

【請求項3】前記印刷データは、前記装置識別コードと共に、印刷J O B開始コード、実印刷データ部及び印刷J O B終了コードを含むことを特徴とする請求項1または2に記載の印刷処理装置。

【請求項4】前記印刷データは、前記情報処理装置にインストールされている印刷用ドライバにより生成されることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の印刷処理装置。

【請求項5】前記情報処理装置と共にL A N接続環境を構成していることを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の印刷処理装置。

【請求項6】前記情報処理装置は、任意の印刷用ドライバ及び印刷先ポートを選択可能であることを特徴とする請求項5に記載の印刷処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、印刷処理装置に関し、特に、情報処理装置に接続されて文書等の印刷を行う印刷処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、情報処理装置、例えば、文書作成機能を備えたPC (personal computer) 等に接続されて、文書等の印刷を行う印刷処理装置が知られている。このような印刷処理装置により印刷を行う場合、PC操作者は、印刷に使用する印刷用ドライバを指定し、PCから送り出される印刷データと対象印刷処理装置の印刷に関する各種設定情報を適合させる。

【0003】ところで、従来の印刷処理装置において、PC操作者による印刷用ドライバの指定ミスにより、PCから送り出されて印刷処理装置が受信した印刷データが、対象印刷処理装置が許容する印刷データと異なる場合がある。

【0004】このような場合、受信した印刷データが、印刷処理装置にとって解析不可能なデータになってしまい、異常な印刷編集処理が行われて誤印刷が実施されることになる。誤印刷が実施されると、用紙が大量に出力されたり判読不可能な印刷になってしまい等の無駄が生じてしまう。

【0005】一方、情報処理装置側の操作者に対し、要

2

求した印刷処理がどのプリンタで行われているかを表示することができるものとして、例えば、特開平4-77817号公報に開示された①情報処理システムが知られている。

【0006】この①情報処理システムは、各情報処理装置に割り当てられた識別子を設定する設定手段と、この識別子を出力する出力手段を有し、各プリンタは、識別子の入力手段と、どの情報処理装置から転送された情報を処理中かを表示する表示手段とを有する。これにより、現在プリンタに接続している情報処理装置を、視覚または聴覚で認識できるようになる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の①情報処理システムにおいては、印刷可能なプリンタを自動的に選択するが、仮に、その選択されたプリンタが情報処理装置により設定されたドライバに対応していない場合には、何ら警告を与えることができない。

【0008】即ち、①情報処理システムにおいても、従来の印刷処理装置と同様に、選択されたプリンタが設定されたドライバに対応していないまま、異常な印刷編集処理が行われてしまう場合が起こる。従って、異常な印刷編集処理が行われて誤印刷が実施されることにより、用紙が大量に出力されたり判読不可能な印刷になってしまい等の無駄が生じてしまうことが避けられない。

【0009】この発明の目的は、異常な印刷編集処理による誤印刷が実施されるのを防止することができる印刷処理装置を提供することである。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、この発明に係る印刷処理装置は、情報処理装置に接続された印刷処理装置において、前記情報処理装置から送り出されて受信した印刷データを解析し、装置識別コードが一致しない場合は前記印刷データを破棄する装置識別手段を有することを特徴としている。

【0011】上記構成を有することにより、情報処理装置から送り出されて受信した印刷データは、装置識別手段により解析され、装置識別コードが一致しない場合は印刷データが破棄される。これにより、異常な印刷編集処理による誤印刷が実施されるのを防止することができる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、この発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0013】図1は、この発明の実施の形態に係る印刷処理装置の構成を示すブロック図である。図1に示すように、印刷処理装置10は、複数個設けられて、サーバPC (personal computer) 11、及び文書作成機能を備えた複数のクライアントPC 12a～12nと共に、L A N (local area network) 接続環境を構成している。

【0014】クライアントPC12a～12nには、印刷処理装置10a～10nの全て若しくは数個に対応する印刷用ドライバ13がインストールされている。印刷用ドライバ13は、印刷データを編集する際に、印刷JOB開始コードと装置識別コードを含むヘッダ部、及び実印刷データ部と印刷JOB終了コードを含むフッタ部を、生成する機能を有している。

【0015】印刷処理装置10a～10nには、装置識別コード解析部（装置識別手段）14が備えられ、この装置識別コード解析部14により、クライアントPC12a～12nから送信されてくる印刷データを解析し識別することができる。

【0016】印刷用ドライバ13により生成された印刷データは、クライアントPC12a～12nから印刷処理装置10a～10nへ送信され、印刷データを受信した印刷処理装置10a～10nは、装置識別コード解析部14によって印刷データを解析する。

【0017】これら印刷処理装置10a～10nは、受信した印刷データに含まれている装置識別コードが、印刷処理装置10a～10n自身に設定されている装置識別コードと一致している場合、受信した印刷データを編集処理し印刷を行う。一方、受信した装置識別コードと装置自身の装置識別コードとが一致しない場合、受信した印刷データの1JOB全てを破棄する編集処理を行い、印刷を実行しない。

【0018】図2は、印刷用ドライバが生成する印刷データの説明図である。図2に示すように、印刷データ(1JOB)15には、実印刷データ部16と共に、ヘッダ部17に、印刷JOB開始コード及び装置識別コードの識別データが設けられ、フッタ部18に、印刷JOB終了コードが設けられる。

【0019】次に、サーバPC11、クライアントPC12a～12n、及び印刷処理装置10a～10nにより構成されたLAN接続環境における動作を説明する。

【0020】例えば、クライアントPC12a～12nから、印刷処理装置10aに対し印刷データを送信する場合、正常な処理においては、印刷処理装置10a用の印刷用ドライバを選択し、印刷データ15を生成させる。同様に、印刷処理装置10nに対し印刷データ15を送信する場合、正常な処理においては、印刷処理装置10n用の印刷用ドライバを選択し、印刷データ15を生成させる。

【0021】印刷処理装置10a～10nは、クライアントPC12a～12nから送り出された印刷データ15を受信し、印刷編集処理を行う。印刷編集処理を行う際、先ず、装置識別コード解析部14により、印刷データ15のヘッダ部17に含まれている印刷JOB開始コード及び装置識別コードの解析を行う。解析の結果、印刷データ15の装置識別コードが、送信対象となる印刷処理装置10a～10nの持つ装置識別コードと一致し

た場合、実印刷データ部16の編集処理を行い印刷を実施する。

【0022】その後、実印刷データ部16の編集処理が終了し、印刷JOB終了コードを含むフッタ部18までの処理が終了すると、印刷データ15の処理は終了となる。

【0023】ここで、印刷処理装置10aと印刷処理装置10bの印刷データに互換性が無い場合において、クライアントPC12a～12nの操作者のミスにより、10印刷処理装置10aに対し、印刷処理装置10b用の印刷ドライバを選択して印刷データ15を生成し、印刷処理装置10aに印刷データ15を送信したとする。

【0024】印刷データ15を受信した印刷処理装置10aは、装置識別コード解析部14において、受信した印刷処理装置10b用のフォーマットとなっている印刷データ15のヘッダ部17に含まれている、印刷JOB開始コード及び装置識別コードの解析を行う。

【0025】解析の結果、装置識別コード解析部14は、装置識別コードが一致していないと判断し、受信した印刷データ15のヘッダ部17、実印刷データ部16、及び印刷JOB終了コードを含むフッタ部18までの1JOB分のデータを、全て破棄し、印刷編集処理を行わない。

【0026】同様に、印刷処理装置10bに対し、印刷処理装置10a用の印刷ドライバを選択して生成した印刷データ15を送信した場合にも、印刷データ15を受信した印刷処理装置10bは、印刷データ15のヘッダ部17、実印刷データ部16、及び印刷JOB終了コードを含むフッタ部18までの1JOB分のデータを、全て破棄し、印刷編集処理を行わない。

【0027】なお、クライアントPC12と印刷処理装置10がLAN接続環境にある場合、任意の印刷用ドライバ及び印刷先ポートを選択することが可能である。

【0028】続いて、クライアントPC12と印刷処理装置10がLAN接続ではない場合における動作を説明する。

【0029】クライアントPC12には、印刷処理装置10の数個の印刷用ドライバ15がインストールされている。印刷用ドライバは、印刷データ15を編集する際に、印刷JOB開始コードと装置識別コードを含むヘッダ部17と、実印刷データ部16と、印刷JOB終了コードを含むフッタ部18を生成する機能を有する。

【0030】クライアントPC12から、印刷処理装置10に対し印刷データを送信する場合、通常は、送信対象となる印刷処理装置用の印刷用ドライバを正しく選択し、印刷データ15を生成させる。印刷処理装置10は、クライアントPC12より送信された印刷データ15を受信し、印刷編集処理を行う。

【0031】印刷編集処理を行う際、先ず、装置識別コード解析部14により、受信した印刷処理装置10用の

フォーマットとなっている印刷データ15のヘッダ部17に含まれている、印刷JOB開始コード及び装置識別コードの解析を行う。

【0032】解析の結果、印刷データ15の装置識別コードが、印刷処理装置10の持つ装置識別コードと一致した場合、実印刷データ部16の編集処理を行い印刷を実施する。その後、実印刷データ部16の編集処理が終了し、印刷JOB終了コードを含むフッタ部18までの処理が終了すると、印刷データ15の処理は終了となる。

【0033】ここで、クライアントPC12の操作者が、印刷に使用する印刷用ドライバの指定ミスを行った場合、印刷処理装置10が受信した印刷データ15が、印刷処理装置10の印刷データ15のフォーマットと異なっていることがある。印刷処理装置10は、装置識別コード解析部14において、受信した異なったフォーマットの印刷データ15のヘッダ部17に含まれている印刷JOB開始コード及び装置識別コードの解析を行う。

【0034】解析の結果、装置識別コード解析部14は、装置識別コードが一致していないと判断し、受信した印刷データ15のヘッダ部17、実印刷データ部16、及び印刷JOB終了コードを含むフッタ部18までの1JOB分のデータを、全て破棄し、印刷編集処理を行わない。

【0035】このように、この発明によれば、端末であるクライアントPC12は、実印刷データ部16と共に、ヘッダ部17に、印刷JOB開始コード及び装置識別コードの識別データが設けられ、フッタ部18に、印刷JOB終了コードが設けられた、印刷データ(1JOB)15を送信し、印刷処理装置10は、装置識別コード解析部14を備えている。

【0036】そして、クライアントPC12による印刷先ポート指定により選択された印刷処理装置10は、クライアントPC12でのドライバの設定が印刷処理装置10自身の設定と異なる場合には、印刷処理を行わない。

【0037】即ち、LAN接続環境(図1参照)においては、クライアントPC12の操作者の印刷先ポート指定ミスや印刷用ドライバ指定ミスにより、印刷処理装置10が受信する印刷データが、印刷処理装置10が解析不可能な印刷データ15となる場合がある。

【0038】この場合、印刷処理装置10は、受信した

印刷データ15のヘッダ部17にある装置識別コードを判断し、装置識別コードが一致している場合、受信印刷データを編集処理して印刷を行い、一致していない場合、受信した印刷データ15を1JOB分全て破棄して印刷を実行しない。

【0039】従って、印刷処理装置10が受信した印刷データが、解析不可能な実印刷データ部16の形式であっても、印刷データ15を1JOB分破棄してしまうため、印刷編集処理が異常処理となり誤印刷となるのを防止することができ、用紙が大量出力されたり判読不可能な印刷になる等の無駄を発生させない。

【0040】同様に、クライアントPC12と印刷処理装置10がLAN接続でない場合でも、装置識別コードの一一致或いは不一致を判断することにより、クライアントPC12の操作者による印刷用ドライバ指定ミスが発生した場合に、印刷編集処理が異常処理となり誤印刷となるのを防止することができ、用紙が大量出力されたり判読不可能な印刷になる等の無駄を発生させない。

【0041】
20 【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、情報処理装置から送り出されて受信した印刷データは、装置識別手段により解析され、装置識別コードが一致しない場合は印刷データが破棄されるので、異常な印刷編集処理による誤印刷が実施されるのを防止することができる。よって、誤印刷が実施されて、用紙が大量に出力されたり判読不可能な印刷になってしまふ等の無駄が生じてしまうことを避けることができる。

【図面の簡単な説明】
【図1】この発明の実施の形態に係る印刷処理装置の構成を示すブロック図である。

【図2】印刷用ドライバが生成する印刷データの説明図である。

【符号の説明】

10a～10n 印刷処理装置

11 サーバPC

12a～12n クライアントPC

13 印刷用ドライバ

14 装置識別コード解析部

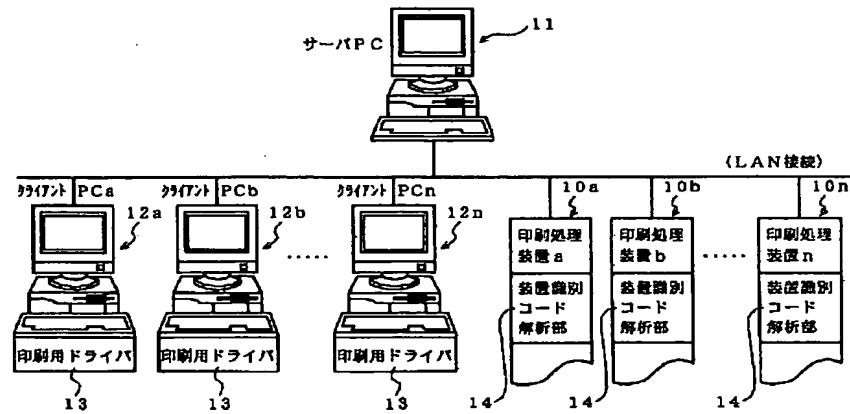
15 印刷データ

40 16 実印刷データ部

17 ヘッダ部

18 フッタ部

【図1】



【図2】

